



デジタルインターフェイス受信機

ITF-7400

仕様書
取扱説明書

— 第4版 —

梅沢技研株式会社

納入製品のお取り引き条件約款

製品の納入

- 納入済みの製品の解約は原則としてお断りいたします。
- 6ヶ月以上前の注文指定はお受け致しかねます。
- 納期を厳守いたしますが、止むを得ず納期変更の場合があります。その際、協議の上決めさせていただきます。
- 製品は、当社標準梱包方式で納入します。運賃等諸掛かりを別途に負担いただきます。
- 取扱説明書は、製品に1部添付しております。別途必要なときは有料となります。
- 製品は改良などの為予告なく意匠、使用の一部を変更することがあります。
- 製品の所有権及び滅失毀損等の危険負担は、納入時にお客様に移転します。
- 当社の据え付け工事を行う製品は、据え付け調整の完了をもって、お客様の検収終了といたします。
- 当社が据え付け工事を行わない製品は、製品納入から30日以内に検収願います。製品の不具合は30日以内に確認し、通知して下さい。通知のない場合は、検収終了といたします。
- お客様の支払い遅延その他の債務不履行があった場合、当社催促後10日以内に履行されないときは、お客様に対する当社の債務の履行を停止することがあります。
- ソフトウェア製品については、別途定める「ソフトウェア約款」に基づいて権利の許諾が受けられます。

製品の保証

- ・ここで使われる不具合とは、製品の故障や損傷を意味するもので、それらに起因する損害は含みません。
- ハードウェア製品に対しては、部品及び製造上の不具合について保証します。保証期間中は通知がありしたい、当社の判断で修理又は交換を行います。
- ソフトウェア製品に対しては、ソフトウェアの媒体の不具合について保証します。
- 保証期間中、該当するソフトウェアがハードウェア上に適切に設置されたに拘わらず、媒体の不具合が原因で正常実行されない場合は、当社の判断で媒体の修理又は交換を行います。
- 保証による修理は、当社営業時間の午前9時から午後5時30分の時間帯で実施します。尚、保証期間中内でも、当社規定の出張修理地域以外での出張修理は、技術派遣費は実費請求となります。
- 当社の保証は、製品の動作が中断されないものであったり、エラーの皆無であること保証するものではありません。保証期間中に、当社が不具合を認めた製品を相当期間内に修理又は交換出来なかった場合、お客様に製品を返品してもらい、当社から購入金額をお返しします。
- 保証期間は、製品ごとに定められております。当社担当までお問い合わせ下さい。この期間を過ぎたものは全て有償修理となります。保証は、当社が据え付け調整を行う製品については、据え付け調整完了日より開始します。また、据え付け調整を行わない製品のみについては、納入日より開始します。
- 当社の保証は、以下に起因する不具合に関しては適用されません。
 - (1) 不適当又は不安全な保守、保管及び保存により生じた不具合。
 - (2) 当社が認めていない使用上の誤り、或いは不当な改造や修理により生じた不具合。
 - (3) お客様による輸送移動中の落下、衝突等及び据え付け場所の不備又は保全の不適当による不具合。
 - (4) 当社が認めていない車両、船舶ならびに航空機等へ搭載したことによる不具合。
 - (5) 当社以外のソフトウェア又は機器を接続して生じた不具合。
 - (6) 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害等の天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による不具合。
 - (7) 日本国以外の外国にて使用した場合の全ての不具合。注意：上記による不具合製品については、性能や安全性を復旧できないことがあり、修理不能のことがありますので、修理をお断りすることがあります。
- 当社は、以上に記載する以外の保証は行いません。また、製品の特定用途での性能や特性などの適応性や不具合に関する保証はいたしかねます。
- 当社による、製品の保守修理部品の供給期間は、その製品の廃止後5年間です。

製品又はサポートに対する責任

- 当社は、以下の事由に基づき第三者からの特許権等の侵害の申し立てに対し、その責任を負いません。
 - (1) お客様のデザイン、仕様、指示に基づく製品。
 - (2) 当社以外による製品の改造。
 - (3) 製品の不適当な使用。
 - (4) 当社以外から供給された製品と組み合わせて使用すること。
- 当社は、製品又はサポートによる特許権等及びその他の知的財産権侵害について、ここに記載されている以外の責任を負いません。
- 不可抗力による履行の遅滞や不履行については、お客様、当社双方その責任を負わないものとします。
- 製品は、人命に拘わる医療機器、航空機、船舶及び公共の場所などでの運用上の結果並びに原子力施設での運用による結果の責任を負いかねます。
- 当社の製品を使用したいかなるシステムの運用上の結果において、他の及ぼす影響や不具合に対して責任を負いかねます。
- 当社製品の不具合に対し、無償補償期間中のみ同等のものと交換します。直接関係の無い機器の不具合まで補償するものではありません。

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために注意事項を説明します。
その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号はしてはいけないことを意味します。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。



警告

異常状態（煙が出ている、へんなにおいや音がする）のときは電源プラグを抜く



- 万一、煙が出ている、へんなにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼下さい。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめ下さい。



ふたは絶対あけない



- この機器のふたはずさないで下さい。感電の原因になります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼下さい。
- この機器を改造しないで下さい。火災・感電の原因となります。

指定以外の電圧で使用しない



- 表示された電源電圧AC100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

安全にご使用いただくために

内部にものや水などをいれない



- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。



- 万一異物がこの機器の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一この機器の内部に水など入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本体の下敷にならないようにして下さい。コードを傷つけて、火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないで下さい。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないで下さい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災・故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。感電の原因となることがあります。

設置場所

- 風通しの良い所に設置して下さい。
- 暖房機器の熱が直接当たらない所に設置して下さい。
- 熱、水、湯気、油、油煙がかかる所や換気扇の近くには設置しないで下さい。

目次

ご使用にあたって	- 2 -
1. 概要	- 3 -
2. 各部の説明	- 4 -
2-1. ITF-7400	- 4 -
3. 仕様	- 5 -
3-1. ITF-7400	- 5 -
4. 操作方法	- 6 -
4-1. 基本操作	- 6 -
4-2. ITF-7400設定操作	- 9 -
4-3. デジタルビデオ出力のスケーラ設定	- 10 -
4-4. デジタルビデオ出力のフォーマット設定	- 11 -
4-5. デジタルビデオ出力のHDCP設定	- 11 -
4-6. デジタルビデオ出力のHDCP再設定	- 11 -
4-7. デジタルビデオ出力のHDCPマスク色	- 11 -
4-8. デジタルビデオ出力切断検知	- 11 -
4-9. デジタルビデオ出力切断待機時間	- 11 -
4-10. デジタルビデオ出力切断条件	- 11 -
4-11. 設定保存/確認	- 11 -
4-12. 入力信号ステータス	- 11 -
5. コネクタ仕様	- 12 -
6. ブロック図	- 13 -
7. 故障かなと思ったら	- 14 -
商標について	- 14 -

ご使用にあたって

お願い

- 輸送中、使用前において破損等がないことを確認の上使用して下さい。
- 本製品は、社内に於いて十分検査をした上で出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、販売店までご連絡下さい。

注意

- 本製品は日本国内使用時に限り有効とします。日本国外での使用に関する問い合わせ及び責任には一切応じかねます。
- 人命にかかわる医療装置、航空機、船舶及び公共の場所などで運用した場合の責任には一切負いかねます。
- 本製品を使用したいかなるシステムの運用結果の影響、不具合に関しては一切責任を負いかねます。
- 弊社製品の不具合に関しては、同等のものと交換（無償補償期間中のみ）までといたします。その他の機器の不具合まで補償するものではありません。

必ずお守り下さい

- 使用上で次のような症状が出たときは直ちに電源ケーブルを抜いて速やかに、販売店にご連絡下さい。
 - (1) 異常な発熱、発煙、異臭、異音等が出た時。
 - (2) 電撃を受けた時。
 - (3) 画面に異常が出た時。

著作権について

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licencing LLCの商標または、登録商標です。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

1. 概要

ITF-7400は弊社専用SDI信号に変換・延長された信号やSMPTEのSDI信号をモニターやプロジェクターなどの映像機器へ変換するための受信機です。送信機にはITF-7100/7300または、SMPTEのSDI出力可能な送信機が別途必要です。

主な特徴

1. SDI延長機能

SDI延長機能として弊社専用フォーマットはL-5CFBの同軸ケーブルで最大100mまで映像信号を受信できます。他のSMPTE送信機器は同軸ケーブル長が短くなることもあります。

2. 解像度

HDMIまたはDVIフォーマットで解像度は最大でWUXGA(1920×1200 60Hz)まで対応しています。

3. 音声

HDMIおよびアナログの2チャンネルステレオを出力します。

4. スケーラ機能

スケーラ機能はモニターなどディスプレイなどの未対応解像度を入力した場合でも、本機で解像度を変更して出力することができます。

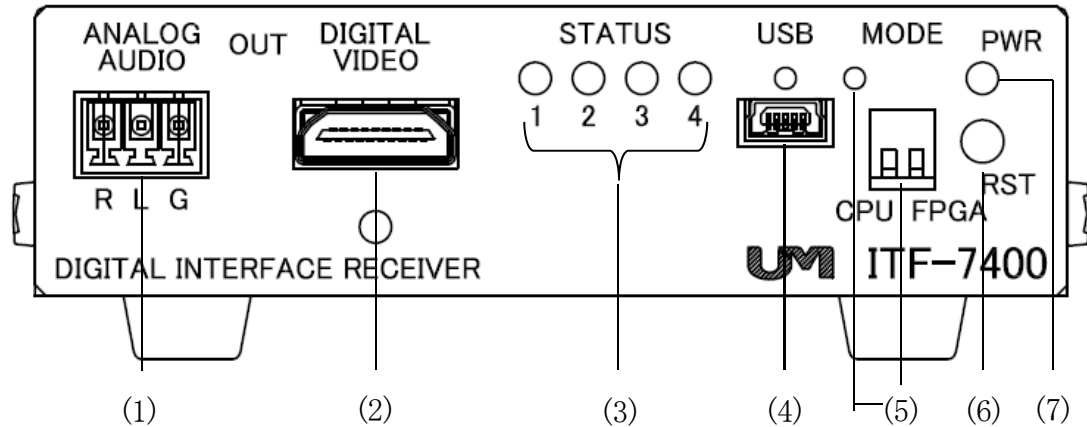
5. DIGITAL VIDEO OUT切断

入力有効信号を検出して、入力に連動してDIGITAL VIDEO OUTを出力/切断する設定があります。切断までの時間調整も可能です。

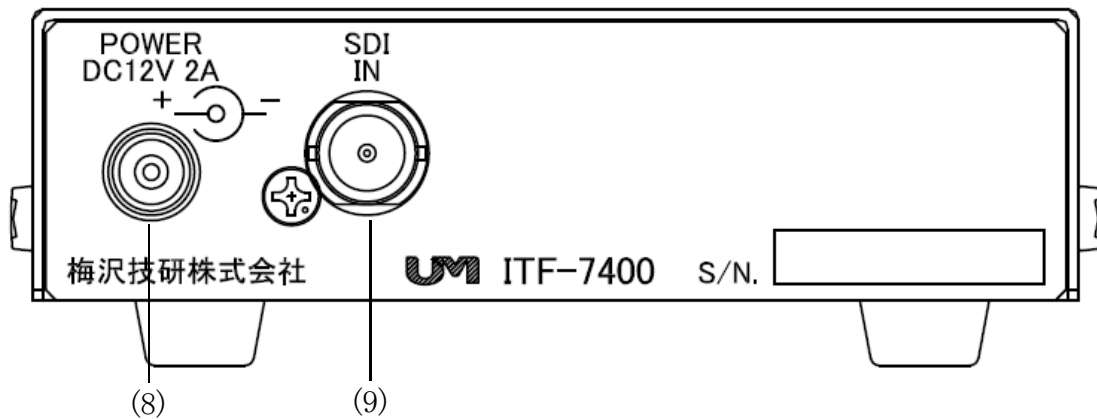
2. 各部の説明

2-1. ITF-7400

ITF-7400正面部



ITF-7400背面部



照番	名称	説明
(1)	ANALOG AUDIO OUT	アナログステレオの音声出力です。 SDI入力の音声を出力します。
(2)	DIGITAL VIDEO OUT	DVI/HDMI 映像信号の出力です。HDCP 1.4対応。 SDI入力の映像/音声を出力します。
(3)	STATUS LED 1~4	入出力状態確認用 LED です。
(4)	USB /USB LED	設定用通信ポートです。
(5)	MODE / MODE LED	サービスマン用スイッチおよび LED です。ご使用はできません。 無理に使用すると機器を破損することがあります。
(6)	RST	ITF-7400の電源リセットスイッチです。
(7)	PWR LED	本機に電源が供給されている時に点灯します。 設定変更した場合は点滅します。
(8)	DCジャック	専用ACアダプタ接続用ジャックです。
(9)	SDI IN	SDIの入力です。送信機とBNC同軸ケーブル接続します。

3. 仕様

3-1. ITF-7400

●最大出力解像度	1920×1200 60Hz (WUXGA)
●デジタル映像・音声 出力	DIGITAL VIDEO OUT 2.25GbpsまでのTMDS信号 (HDCP Ver1.4対応) RGB 8bit コネクタ : HDMI TYPE A 1系統 Audio L-PCM 2channel 48kHz sampling 24bit
●アナログ音声 出力	ANALOG AUDIO OUT 音声最大入力時 +6.4 dBV / 100kΩ負荷 コネクタ : 端子台 1系統 歪率 0.1%以下 (-6dBV、1kHz)
●同軸 映像・音声 入力	SDI IN 標準 0.8Vp-p/75Ω 2.97 Gbps帯または1.485 Gbps帯の シリアルデジタルビデオ信号 コネクタ : BNC コネクタ 1系統 フォーマット ・弊社専用 ・SMPTE : Level A YCbCr 4:2:2 諧調10bit 1920×1080p60/59.94/50, 1920×1080i60/59.94/50, 1920×1080p30/29.97/25, 1280× 720p60/59.94/50 Audio : L-PCM 2channel 48kHz sampling 諧調24bit
●設定	USB コネクタ : USB mini-B 1系統
●同軸ケーブル仕様	指定・カナレ L-5CFB の 75Ω 同軸 (BNC) ケーブル
●ケーブル延長距離	指定同軸ケーブルで100 m まで(弊社送信機間接続時) ※SMPTEは下記 参考値
●電源	専用ACアダプタ : 出力電圧 DC+12V 2A 入力電圧 AC90V ~110V
●消費電力	最大 10W (16 VA) / AC100V
●使用環境	周囲温度 0℃ ~ 40℃ 周囲湿度 25% ~ 85 % 結露なきこと
●質量	約 250 g (ACアダプタ含まず)
●外形寸法	97.0 (W) × 124.0 (D) × 27.0 (H) mm ± 1mm (ゴム足、突起部含まず)
●塗装色	ミディアムグレー色
●付属品	ACアダプタ 1個

参考値 SMPTEフォーマット受信

送信機:Tektronix WFM5250 出力:SMPTE 1080i60、同軸ケーブル:カナレL-5CFB 75Ω 接続ケーブル長150 m
送信機:Tektronix WFM5250 出力:SMPTE 1080p60、同軸ケーブル:カナレL-5CFB 75Ω 接続ケーブル長100 m
参考値につき補償するものではありません。

※ 3G-SDI (2.97Gbps帯) とHD-SDI (1.485Gbps帯) の入力切替え時間が約2秒以上必要になります。

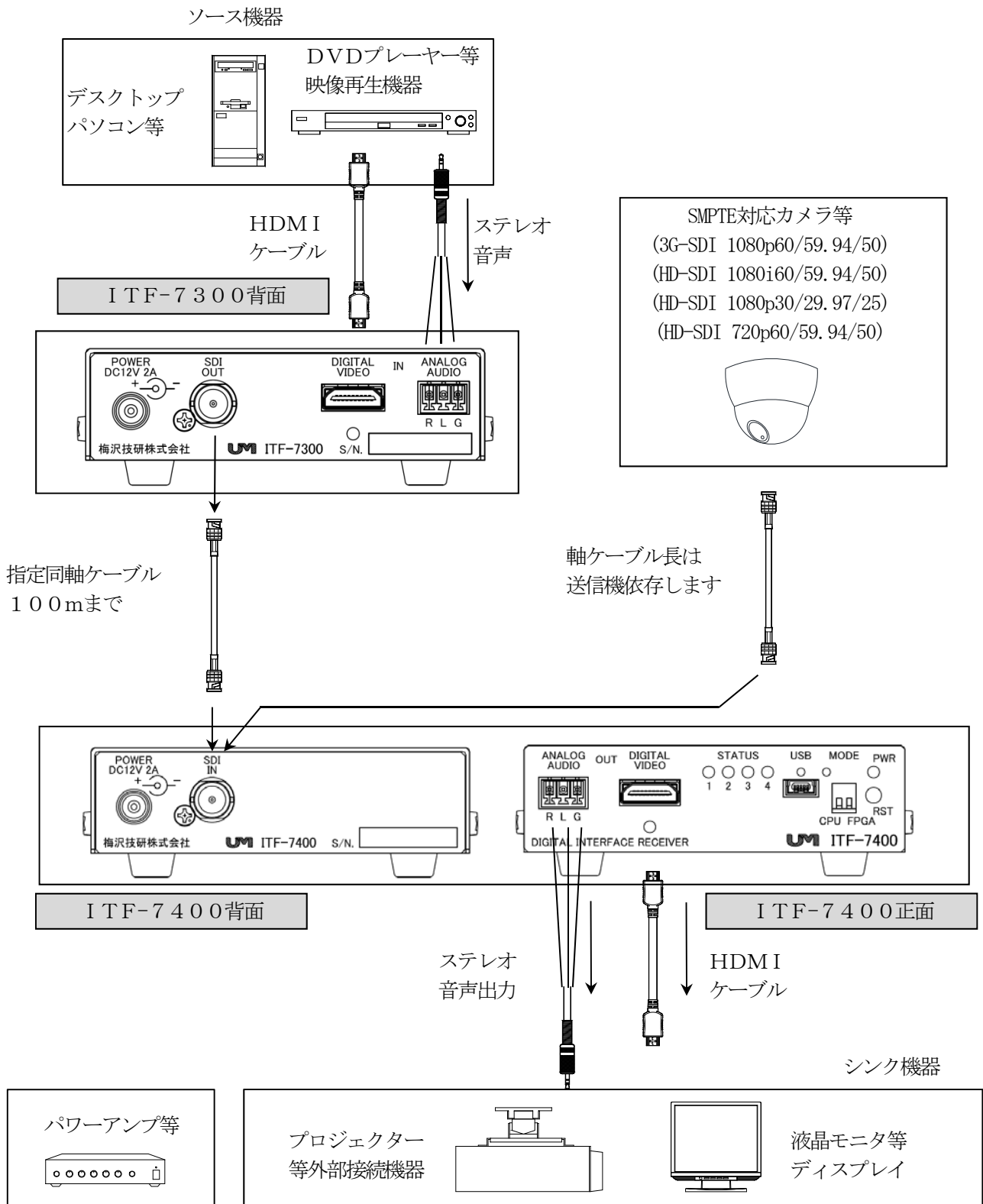
4. 操作方法

4-1. 基本操作

＜接続例1＞

本機は弊社専用SDI信号を受信してデジタル映像、デジタル/アナログ音声へ変換する機器です。
送信機ITF-7100またはITF-7300が必要です。

【1】機器の接続は電源オフの状態で行ってください。



4. 操作方法

【2】 スケーリング/アスペクトの各種設定をします。本機の電源を入れて、パソコンとUSBケーブルで接続して専用アプリケーションより設定を行ってください。接続方法は4-2. 項を参照ください。

表4-1. ITF-7400設定一覧

項目	説明
スケーラ機能 有/無	(*) スケーラ無 : SDIで入力したサイズを出力します ※1080i, 1080p59.94/50/30/29.97/25は1080p60Hzで出力します ※720p59.94/50は720p60Hzで出力します スケーラ有 : スケール調整のサイズを出力します
スケーラ アスペクト維持/無視	(*) アスペクト維持 : アスペクト比維持のサイズ変更します アスペクト無視 : アスペクト比無視のサイズ変更します
スケーラ調整	スケーラ調整 設定 S00~S17, S25, S27 (表4-3. を参照)
SDI入力切替	(*) 3Gbps帯固定3G-SDI : 弊社専用SDIまたはSMPTE 1080p60/59.94/50受信 1.5Gbps帯固定HD-SDI : SMPTE1080p30/29.97, 1080i60/59.94, 720p60/59.94/50受信 3Gbps/1.5Gbps帯切替 : 3Gbps/1.5Gbpsの受信帯域を切替サーチして受信
アナログオーディオアッテネータ	(*) 0dB : 減衰しません (0dB入力に対し約 6dBVを出力) -6dB : 6dB減衰 (0dB入力に対し約 0dBVを出力) -12dB : 12dB減衰 (0dB入力に対し約 -6dBVを出力)
DIGITAL出力 フォーマット	(*) HDMI : HDMI フォーマットで出力します DVI : DVI フォーマットで出力します
DIGITAL出力 HDCP モード	(*) 常時ON : HDCPは常時ONにします 自動判別 : HDCPはSDI入力からの信号を判別して切り替わります
DIGITAL出力 HDCP再設定	(*) 繰返 : エラー発生時にDIGITAL OUT のHDCP設定を繰り返します マスク画面 : エラー発生時にDIGITAL OUT のHDCP設定を停止し、マスク画面を出力します。ホットプランキング動作等でマスク画面解除を行い、再設定します
DIGITAL出力 HDCPマスク色	(*) 黒 : HDCPマスク時に表示されるカラー選択を黒色にします 灰 : HDCPマスク時に表示されるカラー選択を灰色にします
DIGITAL出力 切断検知	(*) 常時ON : SDI入力の信号が無くても切断しません 入力連動 : SDI入力の信号状態に連動して待機時間後に切断します
DIGITAL出力 切断待機時間	(*) 即時 : SDI入力の信号が切断条件になったら即時に切断します 30秒 : SDI入力の信号が切断条件になったら30秒間待機して切断します 60秒 : SDI入力の信号が切断条件になったら60秒間待機して切断します 120秒 : SDI入力の信号が切断条件になったら120秒間待機して切断します
DIGITAL出力 切断条件	(*) キャリア : SDI入力のキャリアが検出できない場合に切断します 同期信号 : SDI入力の同期信号が検出できない場合に切断します

※ (*)は初期出荷時の状態

【3】 本機の電源を入れなおし、送信機から受信した映像・音声はITF-7400のDIGITAL VIDEO OUTから出力されます。

4. 操作方法

【4】 STATUS LEDの点灯で、ITF-7400の動作状態を下記表の通り確認することができます。

表4-2. 動作状態確認用LED

LED	説明
STATUS 1	点灯：SDI IN に入力信号あり 点滅：SDI IN に入力仕様範囲外、または伝送路損失によるエラー有 消灯：SDI IN に入力信号なし
STATUS 2	サービスマン確認用の表示信号
STATUS 3	点灯：DIGITAL VIDEO OUT シンク機器動作中 点滅：DIGITAL VIDEO OUT シンク機器検出および設定中 ※ 消灯：DIGITAL VIDEO OUT シンク機器未検出
STATUS 4	点灯：SDI IN SMPTE対応フォーマット受信 点滅：SDI IN 非対応フォーマット受信または切替サーチ中 消灯：SDI IN 弊社専用フォーマット受信または入力信号なし
PWR	消灯：電源オフ 点滅：設定値保存中 点灯：動作中

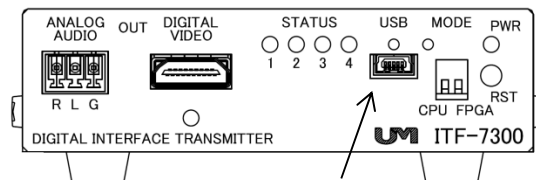
※ 3Gbps/1.5Gbps帯切替サーチ時、出力解像度によってLED STATUS 3が点滅する場合があります。

4. 操作方法

4-2. ITF-7400設定操作

本機はパソコンよりコミュニケーションツールを用いることで、スケーラ機能や出力映像信号の選択切換の設定ができます。設定は本機のROMに書込まれ、次の本機起動時に反映されます。
コミュニケーションツールは弊社ホームページよりダウンロードください。

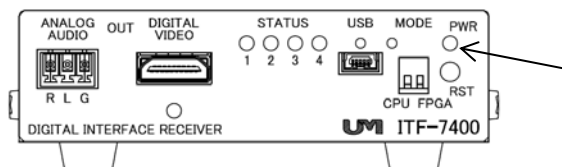
- [1]パソコンUSBと本機正面のUSB mini B ケーブルで接続してください。
USB LEDが点灯します。本機に電源を入れます。



- [2]事前にITF-7400コミュニケーションツールインストールガイドを参照して、パソコンへドライバおよびコミュニケーションツールのインストールをしておきます。
コミュニケーションツールを起動します。
通信設定はデバイスマネージャのポート(COMとLPT)で認識されているCOM番号を設定します。
設定 (C) → 通信設定 (T) をクリックして 通信ポート “COM*” を選択して “OK” をクリックしてください。

- [3]ツールのGUIの項目に沿って、設定送信してください。設定の内容は表4-1. を参照ください。

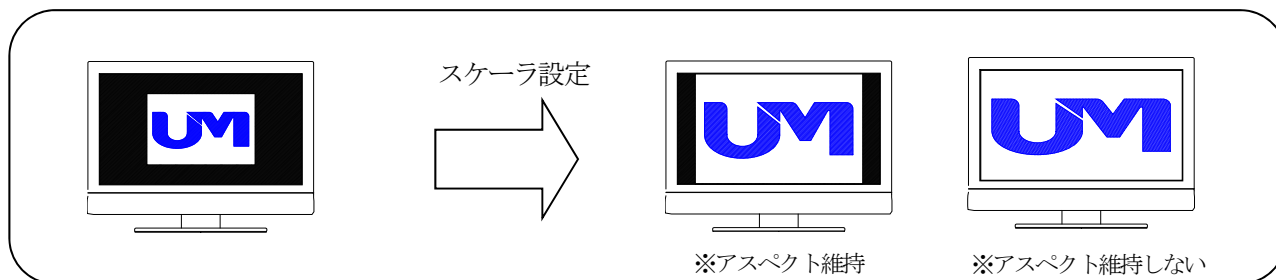
- [4]PWR LEDが点滅から点灯状態になれば、設定変更が完了です。
本機の電源を切り、USBケーブルを取り外してからご使用下さい。



4. 操作方法

4-3. デジタルビデオ出力のスケーラ設定

本機はスケーラ機能を設定することで、入力映像信号よりも大きい解像度に変換して拡大表示、または小さい解像度に変換して縮小表示することができます。



<スケーラ設定方法>

- ① スケーラ有無設定：スケーラ機能を有効にするかを設定します。

スケーラ有の場合はITF-7400内でスケーラ調整サイズに設定した解像度へ変更して出力します。シンク機器への解像度変更処理を抑えることができます。スケーラ無の場合はSDI入力の解像度に合わせてシンク機器への解像度変更処理を行います。1080i、1080p50/30/29.97を入力した場合は1080p60Hzで出力されます。

- ② アスペクト維持/無視

アスペクト維持設定：

アスペクト維持設定の場合はアスペクト比に合わせて縦横の変更倍率を同じにします。アスペクト比が違う解像度は縦の両側または横の上下に黒の映像が付加されます。

アスペクト無視設定：

アスペクト無視設定の場合はアスペクト比を無視し、縦横それぞれの変更倍率になります。アスペクト比が違う解像度は横長または縦長の映像になります。

- ③ スケーラ調整：スケーリング後の解像度を設定します。

スケーラ調整設定は表4-3. のスケーラサイズを変更できます。

UMG信号番号	解像度
S00	1920×1200p60Hz
S01 (*)	1920×1080p60Hz
S02	1680×1050p60Hz
S03	1600×1200p60Hz
S04	1600×900p60Hz
S05	1440×900p60Hz
S06	1400×1050p60Hz
S07	1366×768p60Hz
S08	1360×768p60Hz
S09	1280×1024p60Hz
S10	1280×960p60Hz
S11	1280×800p60Hz
S12	1280×768p60Hz
S13	1280×720p60Hz
S14	1024×768p60Hz
S15	800×600p60Hz
S16	720×480p60Hz
S17	640×480p60Hz
S25	1920×1080p30Hz
S27	1920×1080i60Hz

表4-3. スケーラ調整解像度一覧表 (*) 初期出荷時です。

4. 操作方法

4-4. デジタルビデオ出力のフォーマット設定

本機はHDMI/DVI出力フォーマットに対応しており、使用する機器に応じて選択することができます。

4-5. デジタルビデオ出力のHDCP設定

本機はDIGITAL VIDEO OUTの出力信号のHDCPの常時ON設定ができます。

4-6. デジタルビデオ出力のHDCP再設定

繰り返し設定はHDCPの接続エラーが発生や応答が無い場合、HDCPの再設定を繰り返し行います。マスク画面設定はHDCPの接続応答がない場合マスク画面に切り替えます。再度設定する場合はソース機器のケーブル再接続や電源を入れなおしてください。または入力にHDCP自動追従でHDCP無効のコンテンツが入力されるとマスク画面が解除されます。

4-7. デジタルビデオ出力のHDCPマスク色

HDCP非対応シンク機器の接続やHDCP接続エラーが発生した場合のHDCPマスク画面の色を黒または灰色に設定できます。

4-8. デジタルビデオ出力切断検知

本機はSDI INからの信号の有無に従ってDIGITAL VIDEO OUTの出力信号の切断検知ができます。

4-9. デジタルビデオ出力切断待機時間

本機はSDI INからの信号の有無に従ってDIGITAL VIDEO OUTの出力信号の切断までの待機時間が設定できます。

4-10. デジタルビデオ出力切断条件

本機はSDI INからの信号が無くなる条件を設定できます。同期信号またはキャリア信号が輸出できない場合に出力信号の切断条件にできます。

4-11. SDI入力 固定

本機はSDI INからの入力信号は3Gbps帯と1.5Gbps帯を切り替えて、同期信号をサーチします。設定により3Gbps帯固定、1.5Gbps帯固定、3Gbps帯/1.5Gbps帯切替えサーチを選択できます。3Gbps帯/1.5Gbps帯切替えサーチを選択した場合、切替え時にデジタルビデオ出力信号が途切れます。キャリア信号が輸出できない時は切替サーチを行いません。

4-12. アナログオーディオ出力 アッテネータ

本機はアナログオーディオ出力からの出力レベルを設定により下げることができます。出力レベルを下げた場合はS/N比が低下します。

4-13. 設定保存/確認

コミュニケーションツールは本機への設定送信、設定受信ができます。設定受信することにより設定内容を確認できます。設定ファイルの保存でパソコンに設定内容をバックアップして、設定ファイル選択で再度本機に設定送信できます。デフォルト設定で設定送信をすると工場出荷設定に戻ります。

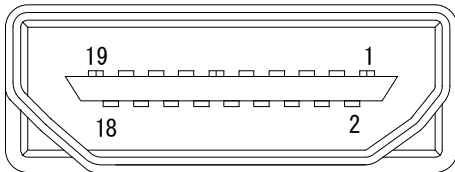
4-14. 入力信号ステータス

コミュニケーションツールは本機に入力されている解像度を確認することができます。SDI INに信号を入力してから設定受信をクリックすることで、本機に入力している信号のステータスを確認できます。

5.コネクタ仕様

●デジタルビデオ映像出力

ITF-7400 : DIGITAL VIDEO OUT



コネクタ : HDMIタイプA

ピン番号	信号
1	TMS DATA2+
2	TMS DATA2 SHIELD
3	TMS DATA2-
4	TMS DATA1+
5	TMS DATA1 SHIELD
6	TMS DATA1-
7	TMS DATA0+
8	TMS DATA0 SHIELD
9	TMS DATA0-
10	TMS CLK+
11	TMS CLK SHIELD
12	TMS CLK-
13	N. C.
14	N. C.
15	SCL
16	SDA
17	DDC/CEC GND
18	+5V
19	HOT PLUG DETECT

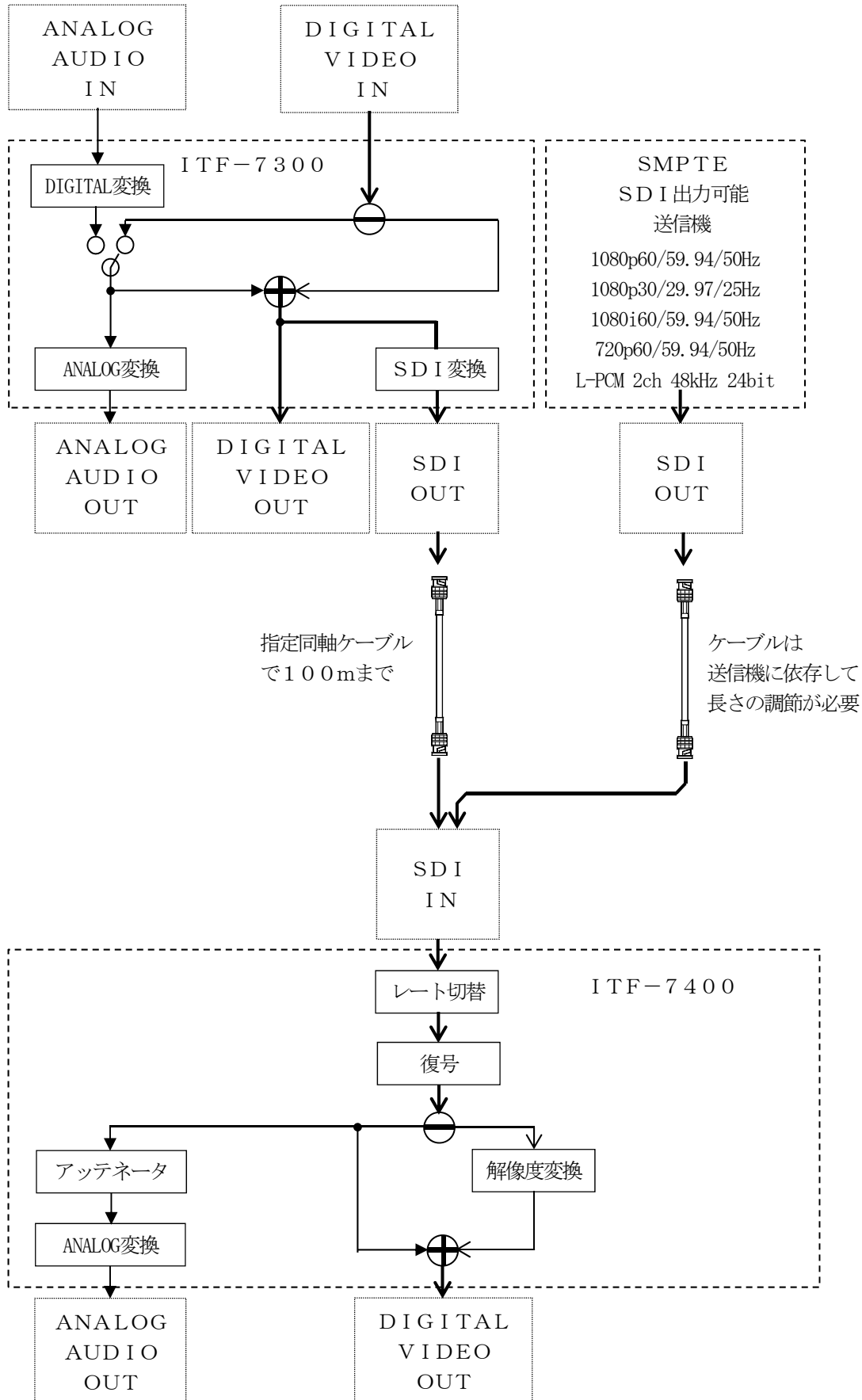
●アナログオーディオ出力



付属コネクタ : 端子台3ピン

ピン番号	信号
R	ステレオ右音声信号 先バラ導線で接続します。
L	ステレオ左音声信号 先バラ導線で接続します。
G	音声グラウンド信号 先バラ導線で接続します。

6. ブロック図



7. 故障かなと思ったら

映像、音声が正常に出力されない

- ケーブルが正しく接続されていますか？またケーブルの接触不良はありませんか？
- パソコンやモニターなどの周辺機器の動作は問題ありませんか？
- HDC Pコンテンツ再生の場合、ディスプレイはHDC P対応機をご使用ですか？

表示装置の画像がみだれる、ちらつく

- 表示装置側の、解像度・周波数は、本機の対応解像度以外ではありませんか？
- 同軸ケーブルが最高距離範囲の長さを超えていませんか？
- 同軸ケーブルにジャンクション(J-J)をご使用していませんか？

→上記確認後、改善されない場合は弊社にご相談下さい。

商標について

HDMIおよびHDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。